

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 ことばの教室 ことのは2号館

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	訓練等の目的に応じて部屋が分かれている。	
	2	職員の配置数は適切である	9	1	利用者として1対1にて、療育を行っている。	職員に欠員が出た場合には、言語聴覚士の指導のもと、臨機応変に他の職員も言語訓練を担えるようにする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2	事業所内は、1階と2階に分かれており、階段が少し急になっているが、手すりを付けて対応している。階段の床全面には、緩衝材を敷いている。また、児童が角や壁にぶつかっても怪我が無いように、そこにも緩衝材を取り付けしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	活動目的に合った環境づくりを行っていて、子ども達が好きな部屋で楽しく活動ができるようにしている。	集団活動を行う際には、遊具の移動を行ったりと、臨機応変に配置の工夫を行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	終業前にミーティングを実施して、その中で業務改善の話を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	前年度の自己評価の結果を踏まえ、改善できる点は速やかに改善を行うようにしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	自己評価の結果は、事業所ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	・各自で興味関心のある研修に参加して、それらの内容を職員へ伝達講習を行ってもらう。 ・毎年、研修内容を募集して、それを踏まえて、毎月、事業所内研修を行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	初期評価表・KIDS・アセスメントシートにて、児童の状況を分析して、職員間で共有している。	保護者への発達への理解の指針となれるように、定期的に発達検討が行っていきけるかを今後検討している。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0		支援計画に沿った支援を行えるように、情報共有の在り方等を再検討している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	4	担当者が立案を行い、チームでは相談と報告を行う。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	職員それぞれが子ども達の興味関心のある教材等や遊びを取り入れて、子ども達が楽しく参加できるように工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	1	子どもの興味関心に合わせて、集団活動を取り入れながらも、個別活動を重視した個別支援計画を作成している。	集団活動の充実は課題でもあるので、改善に繋がるように、他事業所の視察を行ったり、担当者間で日々会議を行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	4	日々のデイリーにて、各自で役割分担を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	毎回の終礼時に振り返りとその共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	担当言語聴覚士が、訓練の内容を記録する。終礼時には、情報共有を行いながら、日々の改善に努めている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	・半年毎のモニタリングを通して、適宜見直しを行いながら、内容を職員間で共有している。 ・必要に応じて、担当者会議を行い、他施設との支援に関する情報共有に努めている。	
	関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	担当言語聴覚士や児童発達支援管理責任者が、日々の情報共有を密にして、それぞれの勤務に応じて参加している。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	8	2	必要に応じて、適宜担当者会議を行っている。	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	3		
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	定期的モニタリング以外にも、必要に応じて担当者会議を行ったり等、情報共有と相互理解を行うようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	定期的モニタリング以外にも、必要に応じて担当者会議を行ったり等、情報共有と相互理解を行うようにしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2	各種研修に参加して、職員間でその内容の伝達講習を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	5		事業所外に出た際には、出会った方々と交流を行ったりしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	10	0		開催されれば、積極的に参加を考えている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	利用の際の申し送りの中で、子どもへの具体的な関わり方等を伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	2		現状、集団のペアレントトレーニングとしての提供はできていないが、個別で家庭での子ども達の関わり方の工夫を伝えるという形で、家庭支援を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	利用の際の申し送りの中で、子どもへの具体的な関わり方等を伝えている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	6		保護者会の実施は無いが、送迎時には家族間の交流もある。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	必要に応じて、管理者や言語聴覚士が適宜行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3	ブログ等を定期的に更新している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	個人情報保護に関する社内研修を行い、個人情報保護に努めている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	職員間にて情報の共有を行い、コミュニケーションに繋げている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5	HPを通して、活動の情報を積極的に発信している。	
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	各種マニュアルを策定して、職員間で共有している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	消防署とも連携を行い、年2回の避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0	食事提供はないが、アセスメントシートで確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2	食事提供はないが、アセスメントシートで確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	その都度、ヒヤリハット事例を作成して、会社全体にて共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	会社・事業所内に虐待防止委員会を設置して、それぞれ年に2回虐待防止の研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	1	必要に応じて、計画立案を行い、児童発達支援計画に記載する。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。